

釧路市における観光の経済波及効果

～観光消費が釧路市にもたらす経済波及効果は年間254億円

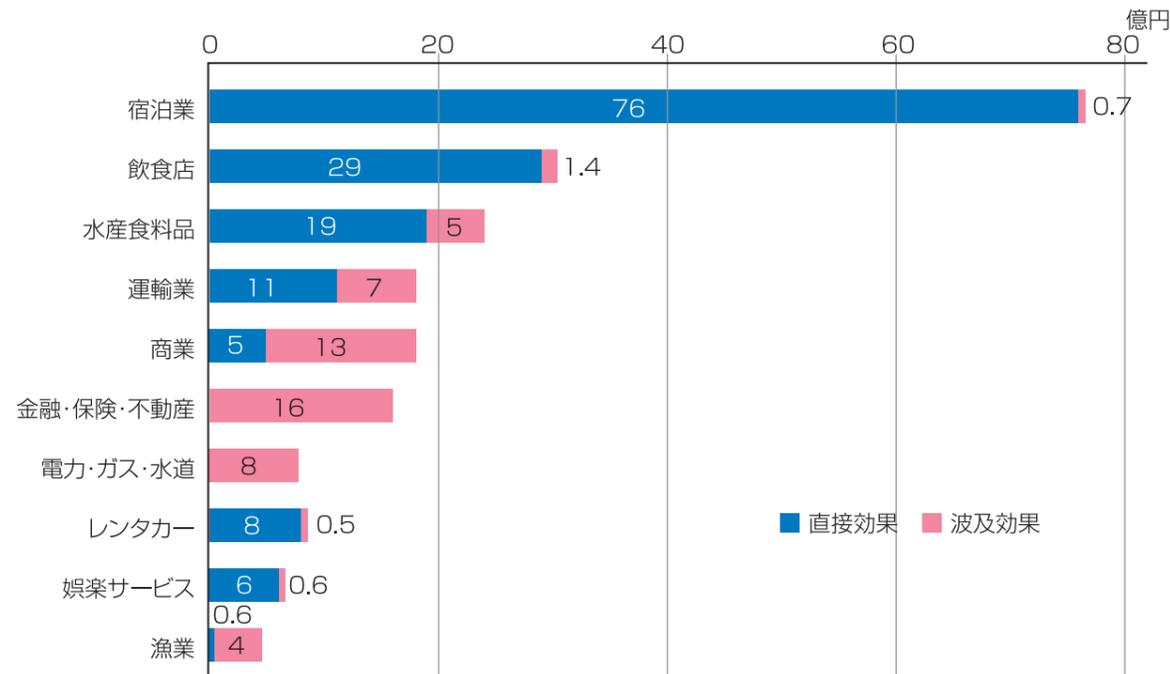
釧路市の来訪客が市内で消費した金額を合計すると年間211億円(2009年)。ここから市外へ流出する分を除くと、釧路市内の産業が直接得た金額(直接効果)は163億円となります。これは、市内総生産6,215億円(2006年度)の1.3%を占めます。

観光客から直接収入を得る産業は宿泊業や飲食店、水産食料品、運輸業などが中心ですが、これらの産業が様々な事業者から仕入れを行うことで、観光の経済効果は釧路市内の幅広い産業へと波及していきます。また、これらの産業で働く従業員が給与を受け取ることで、そこからさらなる消費が生まれます。

これらの波及効果をすべて足しあげると、観光消費が釧路市にもたらす経済波及効果は254億円(2009年)と推計されます。付加価値ベースでは131億円と推計され、これは2006年度の市内総生産の2.1%に相当します。

観光産業は、釧路市経済を幅広く支える重要な移輸出産業なのです。

【グラフ⑧】産業別にみる釧路市観光の経済波及効果



釧路市における観光の雇用誘発効果

～観光消費が釧路市にもたらす雇用誘発効果はおよそ1,900人

観光消費がもたらす経済波及効果は、雇用面にもあらわれます。

釧路市内の産業が観光消費から得た211億円からは、およそ1,300人分の雇用機会が生まれたものと推計されます。

さらに、釧路市内の幅広い産業へ及び波及効果まで含めると、全体でおよそ1,900人の雇用誘発効果が生じています。この人数は、釧路市内全産業の従業員数およそ84,000人(2005年)の2.3%にあたります。

観光消費がもたらす雇用誘発効果を産業別にみると、直接効果の高い産業は宿泊業でおよそ450人分の雇用機会を生み出しています。一方、波及効果でみると卸売・小売業で高く、直接効果と合わせて200人強の雇用誘発効果が生じています。

【グラフ⑨】産業別にみる釧路市観光の雇用誘発効果

